

ファミリーフェスティバル③～若狭湾クラフトマルシェ～

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
300	252	243	243 (宿泊 44 家族 161 名 / 日帰 22 家族 82 名)

2. 事業内容 (概要)

◆ねらい

- ・ 親子を対象とし、クラフト活動、遊びリンピック活動、読書活動等を通して、健康増進と親子関係の向上をはかる。
- ・ 日常生活に体験活動を取り入れられるきっかけづくりとする。
- ・ 若狭地域の団体をはじめ、各団体同士が連携するきっかけづくりとする。

◆期日・期間

令和元年 11 月 30 日 (土) ～ 12 月 1 日 (日) 1泊2日

◆後援・連携機関

後援：福井県教育委員会、小浜市教育委員会、若狭町教育委員会
 連携機関：その他ブース出展・協力機関

◆参加者分析

福井県嶺南地域及び県外では京都府舞鶴市、滋賀県高島市の全小学生に届くように学校経由で配布したこともあり、特に舞鶴市、高島市、敦賀市、小浜市からの参加者が多かった。

これ以外の都府県からの参加者は、過去事業の参加者にもチラシを送付していることから、その中からの参加と考えられる。

表 1. 応募者及び参加者の詳細 (宿泊と日帰りの合計)

府 県	福井	京都	滋賀	大阪	愛知	岐阜
家 族 数	20	18	15	2	1	1
参加者数	111	58	38	8	3	3

◆企画のポイント (日程・特色など)

- ・ 今年度は、①体験人数が制限されてしまうブースを設定しない、②「体を動かすブース」を複数設定、③読書活動の推進に関するブースの設定、④販売ブースの充実を図ることを企画として出展ブースを設定した。
- ・ 昨年度まであった料金をブースの廃止 (材料費を実行委員会が買い取って実現した) ことが分かるようにすることで、だれでも気軽に参加できるように設定した。
- ・ 読書活動の推進に関するブースとして「ブックシェアリング」と「読み聞かせ」を設定した。読み聞かせでは、地域で活躍されている読み聞かせボランティアサークルの方に御協力を仰ぎ、つながりを構築することができた。また、ブックシェアリングでものんびりと読書を楽しむ子供の姿も見られ、読書活動に親しむ機会が提供する。

◆運営のポイント

- ・ 職員全員体制で運営することから、職員への情報共有、役割分担は早めに行うよう心掛けた。
- ・ 各自の動きが分かるようにタイムシフトを作成し、掲示することによって、自分以外の動きの確認し、全体の動きが分かるようにした。
- ・ 作業を効率化するために資料作りを刷新した。その過程で作成したしおりを参加者決定通知に同封したことで業務の効率が図れた。

◆安全管理について

- ・ 室内クラフトであることと、各ブースの運営者が日常的に行っている出展内容であることから、各ブースの安全管理に委任した。

3. アンケート結果

<参加者>

項 目	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	71.0%	27.0%	2.0%	0%
自然の家のスタッフはどうでしたか	93.0%	7.0%	0%	0%
体験ブースは、どうでしたか	83.0%	17.0%	0%	0%

4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満

- ・ 設定していた目標 8 割以上の人が満足感をもって過ごされていた。
- ・ 時間に追われることなくのんびりと体験できて良かったとの声が多数みられた。
- ・ 天候にも恵まれ海のロケーションも素晴らしく、印象が良かったと思われる。
- ・ 体験者数に限りのあるブースを置かなかったこと、料金のかからないブースに統一したことにより、時間に追われず、好きな時に好きなブースを体験できるようにしたことは大きい要因である。

4. 成果と課題

(1) 成果

- ・ 目的である「親子での体験を通じた、健康増進と親子関係の向上」について、時間に追われることなく、様々な体験を親子で共有できたと思う。また、普段ゲームなどを行っている子供にとって、普段できない体験活動や読書活動の興味関心を持つきっかけとなったと思われる。
- ・ イベントに新しく参画いただいた年縞博物館のカフェ縞の新しいつながりができたことで、地域ぐるみの体験活動の展開に今後も期待が持てる。
- ・ 全参加者をweb申し込みで統一することで、入力のミスもなく作業の効率が図れた。

(2) 課題

- ・ 出店ブース出展者が 昼食をとる時間を設けていなかったため、休みなく活動の時間になってしまった。次年度から、休憩の時間帯を設けてもよいと考える。
- ・ 新規の参加者が少なかったため、次年度は初めて見る人や初めて参加しようと思う人に、どんな内容があるのか伝わりやすいチラシの作成を試みたい。
- ・ 今回、チラシの配布が遅れてしまい募集締め切りまでの期間が短く募集定員にまで達することができなかった。

5. 活動の様子

